

伊勢湾貧酸素情報（第4報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では溶存酸素量が低下しており、湾奥部から湾中央部にかけて2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

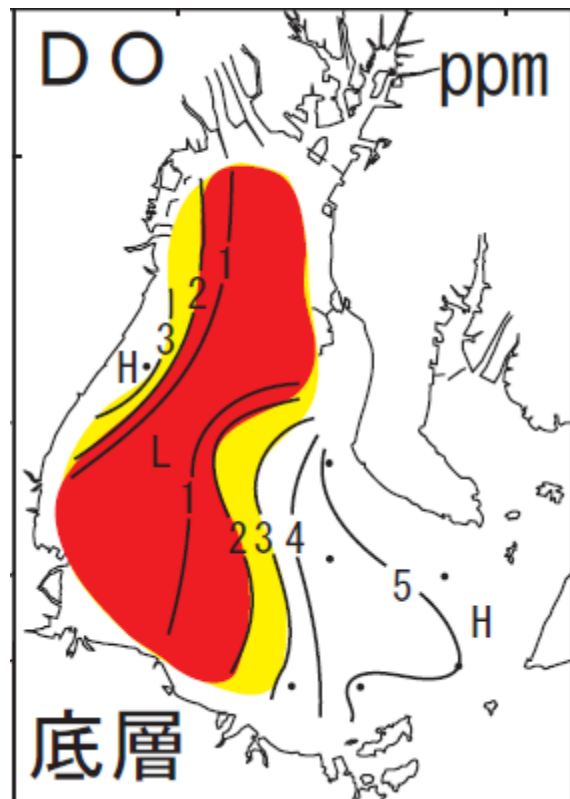
9月6日の調査結果

9月6日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で25.1～26.8℃、10mで23.4～25.2℃、底層で20.3～24.9℃の範囲にあり、表層は平年並からやや低め、10mと底層では平年並でした。

DO（溶存酸素量）は表層で5.4～8.5ppm、10mで2.9～6.5ppm、底層で0.2～5.2ppmの範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10mでやや高め、底層では平年並でした。

底層では、伊勢湾の湾奥部から湾中央部にかけて2ppm以下の貧酸素水塊が形成されていました。

成層化が継続しており、しばらく貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図